

「望ましい教育環境基本計画（案）」にいただいたご意見・ご質問

教育委員会では、「望ましい教育環境基本計画（案）」を村民の皆様にご理解いただくために村内各学校区で説明会を開催させていただきました。

その中で、「学校、保育園、幼稚園の保護者に対する説明会を開催してほしい。」との要望も頂きましたので、村内9か所の学校等で意見交換会を開催させていただきました。

各会場では多数のご意見・ご質問をいただきありがとうございました。この資料は各会場においていただいたご意見、ご質問を取りまとめたものです。

開催日	開催場所	参加対象者	出席者数
1月26日（金）	九戸村老人福祉センター	戸田小学校区住民	14人
1月29日（月）	山根集落センター	山根小学校区住民	16人
1月31日（水）	九戸村山村開発センター	伊保内小学校区住民	40人
2月1日（木）	長興寺銀杏会館	長興寺小学校区住民	21人
2月2日（金）	江刺家ふるさとセンター	江刺家小学校区住民	23人
2月26日（月）	九戸村山村開発センター	各PTA役員	22人
2月27日（火）	九戸村役場会議室	学校評議員	18人
2月28日（水）	九戸村役場会議室	学校関係者	10人
4月5日（木）	伊保内保育園	伊保内保育園保護者	45人
4月10日（火）	戸田保育園	戸田保育園保護者	14人
4月11日（水）	山根小学校	山根小学校保護者	11人
4月12日（木）	長興寺銀杏会館	長興寺小学校保護者	7人
4月13日（金）	ひめはたるこども園	ひめはたるこども園保護者	17人
4月16日（月）	九戸村山村開発センター	九戸中学校保護者	2人
4月17日（火）	九戸村山村開発センター	伊保内小学校保護者	8人
4月18日（水）	江刺家小学校	江刺家小学校保護者	14人
	九戸村老人福祉センター	戸田小学校保護者	7人

地域	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
戸田 小学校区	【質問】 ○施設一体型とした場合、体育館やグラウンドが共用となり使えるスペースが狭くなるのではないか。	○体育館等は小・中それぞれに作るよう計画する予定である。校庭やグラウンド、プール等については共用する形になると思われる。
	○中学校が数年後に建て直すことになれば騒音の問題も出てくると思うので、一緒に新築しても良いのではないか。	○中学校も築 40 年であり、建て直しについても加味しながら、小学校の計画を進めていく。
	○小中一貫教育を導入している学校で施設分離型が多いのは何故か。	○既存の施設を使って小中一貫教育を導入しているケースが多いため施設分離型が多くなっている。校舎を新築して導入する場合、施設一体型に移行しているようである。
	○九戸村が導入を検討しているのは、義務教育学校なのか。	○小中併設型を、現在検討している。
	○現在は運動記録会、水泳記録会が実施されているが、統合後は学校でやることになるのか。	○学校で実施いただく可能性が出てくる。皆さんに検討していただき、意見を聴いて進めていきたい。
	【意見】 ○施設一体型にするのであれば小中同時に新築し、子ども達には新しい施設で清々しく過ごしてもらいたい。 ○家でも増築の方が高つく。増築よりは新たに建てた方が金銭的にも将来的にも良いのではないか。	
山根 小学校区	【質問】 ○中学校の敷地内に建てるという事は決定なのか。	○あくまで計画案であり、決定ではない。
	○中学校も古いので改築したほうが良いのではないか。	○意見を伺いながら、必要な検討をおこなっていく。
	○平成 32 年度、33 年度の建設計画であるが、延びる可能性もあるのか。	○延びることも予想される。
	○平成 30 年度から 5 年間かけて計画を練って、そこから校舎の建設が始まるのか。	○平成 32 年度に建設に入り、平成 33 年度に校舎は完成し、平成 34 年 4 月から開校となる計画です。
	○ザックやジャージなど、学校ごとに指定の備品が違うケースがあるが、どの様に検討していくのか。	○整備委員会を設けて検討していく。その中で、運動着、校歌、校旗、名前等も検討していく計画です。

地域	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
山根小学校区	<p>○計画が実現するまでに、学区外の小学校に行くことは可能か。山根小へ入学させるのを避けるために近隣市町村へ転出する方も居るので、再編の間の何年かだけでも緩和できないか。</p>	<p>○学区外については、保護者の職業や子どもの放課後の安全面等に配慮したことについては認めているが、大きい学校に行きたいという理由では学区外を認めていない。気持ちは非常によく分かる。しかし、山根小学校学区の子どもたちの状況にもかなり影響してくるため、慎重に考えていかなければならないと思っている。</p>
	<p>【意見】</p> <p>○一日でも早く児童が多くの人数的で学習できるよう進めてほしい。今の状況では2年も3年も待ってられない。十分広い敷地があるのでそこをうまく活用して1年でも早くやっていただきたい。</p> <p>○今の計画では5年待たなければならない。1学級に数人という状況は決して好ましい状況ではないので、少しでも早く計画を進めて欲しい。</p> <p>○一刻も早く望ましい教育環境が整うことを切実に願っている。児童数がまだ多く、切実な想いをまだ持っていない学校もあると思うが、今後5年間の推移を見ても児童が増える要素はまったく無く、山根小学校がたどったような経過で進んでいくと思われる。様々な意見があり大変だとは思いますが、その調整に2年掛けるのも時間が勿体無いと思っている。</p>	
伊保内小学校区	<p>【質問】</p> <p>○この計画案は、村民の意見を取り入れてモデルが出来上がっていくとの認識で間違いないか。</p>	<p>○基本的に平成33年度中に学校を整備し、平成34年4月から新しい学校が開校できればと考えての計画である。計画をよりよいものにする為に、伺った意見を検討していきたいと思っている。</p>
	<p>○意見や質問が考慮されない訳ではないと捉えてよいか。</p>	<p>○計画の大筋についてはこのまま進めたいと考えているが、頂いた意見は十分検討したいと思っている。</p>
	<p>○検討委員会の委員とは学校配置の件について具体的に話し合ったのか。</p>	<p>○検討委員会の答申には場所は明記されておらず、基準に見合った立地とすべきとされている。検討委員会の中では、九戸中学校の場所が良いという意見が大半であったが、具体的な選定は教育委員会へ委ねられた形となっている。</p>

地域	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
伊保内 小学校区	○計画案は、都市計画のひとつとして考えられているのか。	○教育委員会としては、子どもたちの教育環境をいかに速やかに整えるかを第一に考え計画案を作成した。施設をどの様に地域づくりに役立てるかという事については、今後、全庁をあげて検討していかなければならないと考えている。
	○場所は九戸中学校敷地内ありきではなく、検討の余地があるということか。	○九戸中学校敷地内ありきではない。早期に実現すること、財政面等を踏まえて検討した結果、現時点で九戸中学校敷地内が一番妥当ということである。別な場所への建設についても検討はさせていただくが、教育委員会だけで回答できる部分ではないので、時間を頂きたい。
	○中学校の校門に向かう坂道など、小学生の通学を考えた場合に危険との意見は無かったのか。	○検討委員会では、特に危険という意見は無かった。ほとんどの児童がバス通学になると予想され、バスで校内まで通う事になる。
	○九戸中学校敷地内が、他の場所に比べ安全面で優位であるとの根拠はどこにあるのか。	○一番はスクールバス通学を考えた場合である。マイクロバスを使用する場合、約 10 台のバスを運行することになる。10 台が同時に到着することを考えると、伊保内小学校ではバスが入れず、ふれあい広場も狭い状態である。九戸中学校では現在もスクールバスを利用しており、その点の安全確保については優位であると判断した。
	○国や県の小学校の学級編成基準は 35 人、40 人とあるがどういうことか。	○学級編成基準は国の基準では小 1 が 35 人学級、小 2 から中 3 までは 40 人学級である。岩手県の基準は小 1、小 2 が 35 人、中学校は中 2 ままで 35 人学級である。そして小 3、小 4 年については 36 人いた場合には、18 人に分けてもよく、36 人にしてもよいという形である。子どもたちの様子や学校運営の事もあり、任せますということである。それらについても今後変わっていく可能性もある。

地域	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
伊保内 小学校区	○クラス替えは県の基準に縛られてしまうのか。適正規模は18名～20名ぐらいとか、アンケートの結果からもそれが良いという説明があったが、この基準にもし縛られるならば36名だとずっと1クラス編制でクラス替えができないではないか。	○小1、小2については35人でクラス替えが可能。40人学級は小3、小4、小5、小6についてはすこやかサポート制度があり、36を超えた子どもたちについては学習集団を分けることも可能です。
	○1学年2学級とならない学年があり、かなり深刻な問題ではないか。追加で要望を出すなど、九戸村独自にそれを出来ないのか。	○集団が大きくなり、学習が非常に困難となる場合などに、県の方に要望することは可能だが、必ずしも認められるかはわからない。
	○住民説明会は何度もこまめに実施するのか。その都度、住民の意見を聞くことは出来るのか。	○今後、PTAや学校評議員、学校現場の方々を対象とした説明会を実施する予定である。改めて住民説明会等の実施を考えている。
	<p>【意見】</p> <p>○今の小学生の意見や保護者の意見を一番大切にし、なおかつ九戸村民の意見も幅広く取り入れていただきたい。中学校の敷地内に作れば手っ取り早くお金も掛からないとの印象を受けるが、一番大切なものを見失っているのではないか。</p> <p>○財政的な部分で、安易に改修しやすいという理由で小中一貫を進めたいという思いがあるのであれば、非常に残念である。無駄にお金をかけろというわけではないが、相当のお金を使って他所から来た方に素晴らしいといわれる学校を作っても、村民の誰一人として反対する人はいないだろう。</p> <p>○コンクリートの中で飼ったマウスと木の中で飼ったマウスとでは、圧倒的にコンクリートの中で飼ったマウスは落ち着き無く精神が不安定だったとの実験結果がある。対して木の中で飼ったマウスは睡眠もよくとり寿命も長い。子どもたちの学習環境なので、その辺りも考慮して学校を作っていただきたい。</p> <p>○人口減少、児童生徒減少のグラフを示され、その通りだとは思いますが、魅力ある学校づくりをすれば増加という可能性も十分にあるのではないか。</p> <p>○第1期のあり方検討委員会は欠席者や発言についても議事録で公開されており、議論の流れも理解できた。第2期の検討委員会は議事録が公開されておらず、突然統合や小中一貫、場所まで示されたので驚いている。メンバーを吟味し村おこし、地域おこしに長けた総合政策の教授等に来ていただき、場所についてだけ議論したほうが良い。今日の参加者はまだまだ少なく、もっとこれが問題となっていることを地域の人間に広げるべきである。結論が今の案となってもよいので、時間を掛けてほしい。</p>	

地域	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
長興寺 小学校区	【質問】 ○はっきりとした開校の年度はまだ決まっていないのか。	○5年間の計画期間であり、33年度には完成し34年度から開校したいと考えている。
	○計画期間は建物の建設も含んでこの期間なのか。	○建物を平成33年度末までに完成させ、平成34年度から始めたいと考えている。
	○学校によって、キャラクターのついた文房具などを使用してよい学校、禁止の学校が混在している。学校を統合する前に統一することは出来ないか。	○計画案が承認され計画となった段階で、保護者も含めて教育環境整備委員会を立ち上げ具体的な中身を検討していく。校歌、運動着など全てをその中で検討することとなる。
	○計画案を出す前に、地区懇談会を実施するべきではなかったのか。	○去年8月から、地域の方々、PTAの代表、学校評議員の代表、学校長の代表など22名で構成した検討委員会を組織し10回ほど検討を行った。その答申を基に計画案を作成し、説明会を行っているのでご理解いただきたい。
	○大きい規模になった場合、先生のスキルアップが保障できるのか。	○家庭と連絡を取りながら子どもたちの成長を小学校1年生から中学校3年生まで見守っていくため、学校の中で指導や研修が行われていく。責任者である教育委員会でも体制を十分整えて支援していかなければならないと考えている。
	○反対という意見はあったのか。	○村内1校、小中一貫教育の導入については概ね賛成いただいた。場所については、計画案以外の場所が良い、小中一緒に新築してはどうかという意見をいただいている。
	○統合したことによるデメリットは。	○集団が急に大きくなった場合、子どもたちが集団の中でうまく立ち回れない可能性がある。それを防ぐ為に、統合前の2年間～4年間で交流を深めていきたいと考えている。
	○学校建設は村の予算のみで行うことが出来るのか。	○国庫負担金が1/2と考えており、残りは起債を考えている。

地域	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
長興寺 小学校区	<p>【意見】</p> <p>○これからの子どもたちのことを考え、早急に進めていただきたい。</p> <p>○多くの子どもたちの中で自分の子どもを育てたい。じっくりという意見もあったが、私は早く計画を進めていただきたいと思っている。</p> <p>○子どもたちは地域の人間に見守られながら、生活の中で覚えていくこともある。将来の村のあり方も踏まえて計画に盛り込んでいただきたい。</p> <p>○説明会がすごく忙しい時間帯で、出席できない父兄が多い。保育園の総会などの機会を利用し、保護者が集まる時間帯に追加で説明会を実施していただきたい。</p> <p>○統合により地域の活気が失われていくとの話がある。それをどうするか考えていただきたい。</p>	
江刺家 小学校区	<p>【質問】</p> <p>○開校はいつになるのか。</p>	<p>○平成 33 年度末までに施設一体型小学校を新設し、34 年度から開校したいと考えている。</p>
	<p>○中学校の校舎も古いので改修が必要になると思われる。環境面を考えたときに、冬に暖かく夏に涼しい環境下で学習できたほうがよいと思うので、中学校についても新設したほうがよいと思うが。</p>	<p>○中学校も築 40 年となり耐用年数としてはまだ残っているが老朽化しており、いずれ中学校も新築が必要となる。今回併せて新築とするかは、これから検討していく。</p>
	<p>○学校施設の維持管理には地域の人間も関わっている。そういった地域の方々の意見も参考にし、計画に反映していく考えはあるのか。</p>	<p>○今回の説明会で出た意見を教育委員会で再度検討し、必要に応じて計画案に反映する。現在までに、一校に再編、小中一貫教育の導入についてはおおむね賛成を頂いており、場所については再検討が必要との意見も頂いた。</p>
	<p>○小中一貫という言葉は聞き慣れずイメージもできない。もっと分かりやすく説明しなければ賛成・反対の判断もできないのではないか。</p>	<p>○一度の説明で理解いただくのは難しい。資料にある成果、課題については、文科省の調査結果から大いに成果が認められたものを抜粋しており、それ以外の課題も当然ある。計画を進めるに当たっては、皆様に理解いただくための視察や、検討委員会を立ち上げて意見を頂きながら進めたいと考えている。</p>
	<p>○統合になった場合に学童クラブはどうなるのか。</p>	<p>○現時点では決まっていないが、基本的には学童クラブ、放課後子ども教室を継続していきたいと考えている。送迎の部分も含めてこれから検討していく。</p>

地域	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
江刺家 小学校区	○小学校が統合となり、教職員も交付税も減ると思われるが、試算はしているか。	○交付税については大まかな数字となるが、学級数分で1,879万9千円減、学校数分で3,613万5千円減、併せて約5,500万円減となる。スクールバスについては台数が増えることから増額と見込まれる。
	○工事の期間中、グラウンドが狭くなりスポーツが出来なくなるのではないか。	○現中学校の敷地であれば、グラウンドを占有せずに小学校を建築できると考えている。もし一部占有する形となっても、山根小学校のグラウンドも活用できる。それらについては、これから具体的な検討に入っていきたいと考えている。
	○体育館やグラウンドが1つだと、小学生と中学生が同時に使用する形となり安全面が心配である。可能であればそれぞれに用意していただきたいが、場所は確保できるのか。	○体育館については小中それぞれに用意したいと思っている。グラウンドも分かっていたほうが良いとは思いますが、ある程度は調整により対応できると思われる。具体的にはこれから検討したい。
	○現在は地域の方に見守られながら登下校しており、安心して通学させているが、江刺家から山根に行くとなると、防犯面の部分で親としては心配である。	○保護者としては一番心配なことだと思う。通学安全に限らず、防災、災害など、子どもたちの安全を第一に進めたい。子どもたちの命が一番大事であり、その上で楽しく学校へ通えるよう、安全面には十分配慮したい。
	○高校まで一貫教育にするという話にはならなかったのか。	○高校は県教育委員会の管轄となる。簡単にはいかないが、これからも検討を行っていく。
	○保護者の理解が足りていないように思われるが、説明会は今回で終了となるのか。	○今後、PTA 役員や保護者会役員への説明会を開く予定でいる。要望があれば、各学校 PTA 総会、保護者会総会等の場を借りて説明させていただく。
	○寄せられた意見を反映した形での説明会は実施するのか。	○計画案が計画となった段階で、村内一斉に実施する予定である。その中で、寄せられた意見に対し、どの様に検討しどんな結論となったかをお示ししたい。

地域	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
江刺家 小学校区	○中学校を建てたときは村内の中心と 言うことで山根となったが、江刺家から 山根に通うには非常に遠い。小学校1年 生がバスで30分かけて登校するのはか なり負担になる。伊保内の街中に建て るという意見は他地区では出なかった のか。	○伊保内地区が良いという意見、山根地 区で良いという両方の意見が出た。そ 中で山根地区として計画案を作成した のは、早期に実施するという観点から である。
	○保育園が合併後に地域の行事への参 加を断られるようになった実例があり、 小学校でもそれが起きるのではないか。	○地域行事と関連させた教育課程の編 成を進めることとして再編計画案に盛 り込んでおり、これらを考慮しながら学 校再編を検討していく。
	○1人の先生が40人に教えた場合より、 数人に教えた場合のほうが学習面で有 利なのではないか。教育委員会として は、40人学級が良いとの判断なのか。	○1学級の人数については最低18人～ 20人としている。国や県の基準では35 人、40人となるが、その場合には県に指 導のための加配を要望し、認められれば 学級を分けることができ、18人～20人 規模の学級とする事が出来る。また状況 により、学級はあえて分けずに、教科に より分けるといったことも可能になる。
	<p>【意見】</p> <p>○小中一貫教育はまだ例が少なく、検証が完全になされた訳ではない。もっと慎重に検証を重ねてから計画に盛り込むべきではないか。</p> <p>○軽米町では、中学校が統合したために「えんぶり」の指導ができなくなり、2団体消滅した事例があった。そういった影響が無いよう検討してほしい。</p> <p>○この計画については、時間を掛けて地域の方々との合意形成を図ってほしい。文部科学省の基準を鵜呑みにせず、九戸村の実態で検討してほしい。</p> <p>○少人数の学年をなぜ複式学級にするのか。少人数であっても複式にせず、学年別に先生を配置すればよい。県から配置されないのであれば、村の予算で配置すればよい。</p> <p>○特別な支援が必要な子は1人1人個性が違うので、学級が複数人となった場合1人の先生では指導が行き届かないのではないかと。支援員を置くなど、手厚く指導していただきたい。</p> <p>○0歳の子をもつ親としては、複式学級の良さも理解しているが、同級生が0人という状況であれば入学させるか考えてしまうと思う。地域の目がある事はとても安心できるが、その様な環境で生活していると、子どもが大人になったときに苦勞するのではないかと。思う。</p>	

地域	質問・意見	教育委員会の考え方
PTA との 意見交換会	【質問】 ○義務教育学校（9年生）というのはまだ保留ですか。	○今後、小中一貫教育を進める時に検討委員会を立ち上げて、考えていきます。
	○施設一体型か施設併設型かで、小中一貫教育の形態も変わってくるのか。	○施設が分離した形であっても、義務教育学校として導入する方法もあります。
	○場所とかの問題もあると思うので、最短で34年と考えるとよいか。	○学校配置場所の方向性について検討いただく中で、計画案以外の場所へとなると延びる可能性もあります。
	○スクールバスを小型化するとか、路線を細分化して乗車時間を短くするなど工夫が必要ではないか。	○これから検討していく事項となりますが、スクールバスについては健康面、体力面を考えると少しは歩かせたほうが良いという部分もあり、細かく回るかどうかも含めて検討材料と考えております。
	【意見】 ○地域で行事がある時には子どもたちを地域に帰します、という考えは大事だと思います。中学校がなくなった時に反対意見が出たように、小学校をなくすと地域が衰退していくとか寂しくなる、そういう理由で反対する人もいます。小学校が統合しても、地域の人たちが今までどおり子どもと接していけるのであれば、場所はどこに建てても構わないという人が多いような気がします。ただ小学校を移した、今までの行事も無くなるでは、子どもを持たない世代のことを考えた時に、まとまらないと思います。1人でも多く賛成して、良い小学校を建ててもらいたいなと考えたとき、そう思いました。 ○地域の意見を聞くことは大事ですが、地域の皆さんを前にして保護者の意見を聞いても、おそらく言葉が出てこないと思います。「今このような計画が進んでいますよ」と私たちが説明はするのですが、やはり各学校に対して教育委員会からの説明があった方が良いのではないのでしょうか。地域と一緒にやるというのも大事なことだとは思いますが、それとは別に学校は学校でというのがあっても良いのではないかと思います。 ○計画案のとおりだと、今の中学校を改修して敷地内に施設一体型小中一貫校を建設となりますが、今の中学校校舎は職員の目が届きにくい造りです。あの施設をそのまま改修して小学校だけ新築したら、職員の目が届かなくて取り返しのつかないようなことが起こる可能性が高いのではないかと思います。それを考えれば、職員の目がきちんと届くような施設を造らなければならないと思います。中学生は不安定な時期ですので、何かが起こってからでは遅いわけですから、計画案のとおり九戸中学校をそのまま改修というのはどうかと思います。	

地域	質問・意見	教育委員会の考え方
学校評議員 との意見交 換会	【質問】 ○開校予定は平成 34 年 4 月ですが、遅すぎるのではないですか。	○今後、整備委員会で再編 1 校への進め方を検討する際に、どうしても時間がかかってしまいます。大規模な建築ですので設計だけでも半年以上見込まれることから、順調に進んでも 2 年はかかると思っております。
	○中学校も耐震補強をしているとはいえ、もう建設してから 40 年経っているという事ですので、例えば中学校も全部壊して新しく設計して、校舎を建てるのも一つの考えではないか。	○十分に検討していきたいと思っております。
	○スクールバスは全員が対象ですか。	○ある程度近い児童は徒歩と考えております。どこを境にするかは、これから整備委員会で検討していただければと思っております。
	○小学校の統合には大賛成ですが、中学校の敷地に新しい小学校を建てるという計画で、土地は十分間に合いますか。	○九戸中学校の敷地で、十分な広さがあると考えております。約 5 ヘクタールありますので十分に余裕があります。なおかつ小中一貫校、施設一体型を考えた場合に、どちらかの校舎を隣接すれば施設一体型にできるということ、九戸中が理想と考えました。
	【意見】 ○小中一貫についてはいいと思います。しかし、学校教育ですから、これを先延ばしするという事はあってはならないと思います。場所云々ではなく、早急に統合するべきです。子どもたちの事を考えれば当然のことではないでしょうか。今の学校を使ってでも早急に統合は行ったほうが良いのではないのでしょうか。 ○子どもたちの将来のための大事な学力・体力保証ですから、それを先延ばしにするなどトンでもない話です。積極的にやるべきです。住民の皆さんから色々な意見が出ているとは思いますが、今考えるべきは住民の皆さんの意見ではなく、将来の子どものことなのです。それを優先的に考えてあげるべきです。 ○小中一貫教育を進めるにあたって学校側はどうするか、教育委員会がどうするかというのもひとつですが、住民が小学校中学校の子どもたちをどう守っていったらいいのか、何が協力できるかその辺も含めて考えていただければ非常にいいと思います。	

地域	質問・意見	教育委員会の考え方
学校管理職との意見交換会	<p>【質問】</p> <p>○1校に再編になった場合の不安を軽減できるよう、教育相談の活用をする、学校間の交流活動をするなどあるが、学校間の交流活動とは具体的にどんなものをイメージしているのか。</p>	<p>○交流活動の一つとして、現在4年生～6年生を対象に行なっているナインズプランを拡大し、2年生や3年生でも実施してはどうかと考えています。</p>
	<p>○統合したら放課後子ども教室も1ヶ所になるのか。</p>	<p>○1カ所と思っているが、保護者さんの要望を確認したい。</p>
	<p>【意見】</p> <p>○再編に向けて、子どもたちや教職員の事前交流、統一した指導方針の立案や教育課程の選定などを具体的に進めていく事が急務になると思う。</p> <p>○中学校における不適応、不登校は必ずしも小規模校出身者が不適応を示している訳ではなく、その理由や状況は様々であり一色端にはできないが、村内で一番大きい伊保内小学校の卒業生であっても、中学校の50人という集団に入っていくことは大きなストレスなのではないかと思う。再編に向けた子どもたちへの配慮と考えた場合、統合前の段階でより多くの人たちと対話させたり、大きな集団の中に飛び込ませたりといったことを意図的にさせる事が必要で、ナインズプランだけではなく保育園とこども園が合同で運動会をするなど、その段階から大きな集団になる事を意図した活動が必要になってくると思います。</p> <p>○学校間の交流活動については、ナインズプランであったり、学習ルールの共通化であったり、先生方の指導の流れが似ていたり、そういった共通項を増やしていくことが必要と思います。</p> <p>○伝承活動について学校行事として実施しているからこそ、子どもたちも保護者も参加しているという状況もあると思いますので、実際に地域に帰した時には衰退していくことも考えられると思います。</p> <p>○村内の各小学校で教育課程上の共通した取り組みを開始し、やれる部分からやっていく。具体的には各小学校の特色を活かしながら、各学期の始まり終わりなどの枠組みを揃えていけるようにすることが必要と思います。</p> <p>○各小学校の学習の約束、それから家庭学習の約束のようなものも揃えていく。</p> <p>○ナインズプランにソーシャルスキルトレーニングを取り入れていくようにした方がいいのではないかと思います。</p> <p>○土曜日授業の取り組みについて、伝承活動等や地域の特色ある活動を継続していくために問題点や課題等があり、じっくり検討していく必要があると思います。</p> <p>○一貫校として進めるのであれば、職員室はひとつでなければならぬと思います。そこで小中連携が日々出来るということが重要で、対立することもあるかもしれないけれども本当に近いところに小学校と中学校の先生がいることが必要だと思います。</p>	

	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
伊保内保育園保護者との意見交換会	【質問】 ○スクールバスの乗車については、どうなっているのか。	○小中一緒にするのか。別々のスクールバスにするのかこれからの検討となる。小中一緒の場合の方がバス内で安全ということもある。伊保内小の子どもたちもスクールバスの通学となる見込みである。
	○こういう説明会をまたやってもらえるのか。	○必要に応じて説明会は開催していく。
	○学校の配置場所の候補地は何か所か予算面を含めて提示したらどうか。	○具体的な金額は提示できないが、概算ではできると思う。現九戸中学校敷地の場合や伊保内小学校東側の場合など。
	○今までに、再編計画の話があったのか。なぜ、再編しなかったのか。	○平成 19 年度に再編計画の話があった。地域の理解が得られなかったものと思う。
	○放課後子ども教室、学童クラブのことが心配。一人一人の状況が違うので、それに対応していけるか。	○現在も学童・放課後子ども教室は行っている。放課後子ども教室を終えた子どもたちは伊保内小の学童クラブに送迎している。今後は、福祉関係と相談しながら一人一人の子供たちの状況に対応していく。
	○小中学校の仕切りはどうか。昔、煙草を吸っていたりしたこともあったので。	○小学校と中学校は、体育館や交流施設等で区切るようにしたい。それぞれの学校の学習や活動に支障をきたさないようにする。
	○小中一貫教育の課題は、教職員のことだけがとりあげられているが。	○調査内容の中で、大きな課題として挙げられたものを提示している。調査項目は、20 数目にわたっており、子どもたちの課題としては、小学校高学年のリーダー育成に課題があるとしているところもある。
	○小中一貫教育を取り入れている保護者の意見を聞きたい。	○教育委員会で視察した宮城県色麻町の小中一貫校での保護者へのアンケートでは、小中一貫教育校に理解を示し、期待しているようだ。一貫校開校までには、保護者の意向を取り入れながら進めた結果でもあると考えている。

	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
伊保内保育園保護者との意見交換会	○九戸中学校の場所となったのはなぜか。	○通学安全・通学時間・通学距離を考慮し、小中一貫教育が早期に実現できると考えた。
	【意見】 ○大きい学校に統合していくのが普通のような気がする。 ○大きな集団の中で育ってきた。中学校の時は、1クラス120名もいた。子どもたちには、多くの人数の中で切磋琢磨しながら育てていきたい。	
戸田保育園保護者との意見交換会	【質問】 ○現在、それぞれの学校で別々の運動着を着ているが統合した場合新しく運動着を揃えるのか。	○費用もかかるのでそれぞれの運動着を着るか、村から補助を出すという方法もある。計画が確定したら話し合っ決めていきたい。出来るだけ皆さんに負担をかけないように配慮したいと思う。
	○山根小学校は指定のランドセルだが、以前に小学校へランドセルについて、問い合わせたら村からは再編についてきていないのでこちらからは、お答えすることは出来ないと言われた。各小学校へ話はいつているのか。	○事務局とすれば、出来るだけ早く再編計画を確定し、確定した段階で各小学校へ伝えたいと思う。
	○スクールバスの乗降所についてだが、小中学校の生徒は同じ場所なのか。小さい子供が一人で道中危険な場合は配慮してくれるのか。	○自宅からとまではいかないが、治安等も考え配慮していきたいと思う。スクールバスの大きさも考えて対応していきたい。
	○小中学校で終業時間が違うと思うが、帰りのバスの時間はどうなるのか。	○バスを何本かに分けて運行することや、図書館と一緒にしているような学童保育施設を設けたりすることが考えられる。今後、計画が進む中で皆さんに問いかけたい。
	○支援学級は1、2年など一緒になるのか。	○一定の集団を子供たちに作ってほしいと考えている。活動によって学年が一緒になって授業する。また、体育や音楽は、交流学級で授業する。小中一貫教育9年間で育てていきたいと考えている。

	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
戸田保育園 保護者との 意見交換会	○今、こういった説明をしているがいつ確定するのか。早く計画を進めてほしい。計画が遅れる場合はあるのか。	○各地区へ説明を行い、その後確定した計画をお知らせしたいと思う。8月には、計画を確定したいと思う。学校配置場所が変わった場合には土地取得等もあり、用地買収に応じてくれる方もいれば、応じていただけない場合もあるので数年遅れてしまう場合もある。
	○計画が決まった時点で、学校に話はいくのか。	○住民の皆さんに説明後、検討委員会等を設置し委員会でどういう校舎にするのか運動着をどうするかなどを話し合い、学校にもお知らせしたいと思う。
山根小学校 保護者との 意見交換会	【質問】 ○34年に統合という話だが、校舎を新築する前にどこかの学校に1度再編するのはどうだろうか。年々、人数が少なくなるのでその前に一緒になれるように再編したほうがよいと思うが。	○検討委員会でもその話がでたが、その方法をとると一部の生徒が1度どこかの学校に再編後、新校舎が出来てからまたそちらの校舎へ移動というように2回も移動になるため、ストレスを感じてしまうのではないかと考えている。年々、子供の数も少なくなるため32、33年度には新築、改修し、34年度から統合したいと計画している。
	○34年度から統合するためにはいつまでにこの計画を決定しないといけないのか。	○説明会がすべて終わり、皆さんからいただいた意見を集約し8月には計画案ではなく、計画として内容を皆さんに説明したいと考えている。
	○小学校の人数が少ないので、子供には多くの子供と遊んだり、交流を深めたりして感受性を豊かにしてほしいと思っているので、計画には賛成している。早く進めてほしい。スクールバスをどうするか、小学生が中学生を怖がる等いろいろ問題はあると思うが、解決して進めてほしい。	○諸々問題はあるとは思いますが解決して早く進めていきたいと考えている。計画が決まったならば、平成32・33年度に交流学習を多くし平成34年度の開校を迎えたい。

	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
山根小学校 保護者との 意見交換会	○体育館は小学校と中学校2つ作るのか。学童保育施設等、多く施設を作るとなると子供たちが十分に活動できる場は確保できるのか。	○体育館は2つで考えている。活動できる場を提供できるよう検討している。中学校の新設、プールや野球場等の再配置も視野に入れつつ検討していきたい。学校配置場所によっては、用地を数十人から買うことになるため時間を要することになる。 計画が出来た時は、環境整備委員会を設置し、ハード面の校舎建築やソフト面の校歌、校旗などを考える組織をつくり校舎建築には、皆様の意見を取り入れ進めたい。
	○小中一体型になる場合は、9年制になるのか。	○検討委員会では、小学校、中学校で入学式、卒業式を行うため、それぞれ独立してあったほうが良いという意見があった。教育委員会としても施設一体型、併設型小・中学校が良いのではないかと考えている。検討委員会で九戸村に相応しい形を考えていく。
	○中一ギャップがなくなるから9年制が良いという意見も分かるが、高校に行ったときに高一ギャップのようなものが起きるのではないかと考えている。私は、小学校、中学校というように段階を踏んだほうが良いと思う。9年制としてではなく小中区分けがあつて、上級生が怖い等体験したほうがよいと思う。小中一貫教育で中一ギャップの解決では高校の集団に入った時の方のショックが大きいのではないかと。	○9年制にしたときの課題として、上級生に頼りっぱなしになってしまう、境がないため馴れ馴れしく上を敬わないようになるのではないかとあげられる。そういったことがないようにしたいと考えている。小中一貫教育の導入は、中一ギャップ解消のみではなく、幼小、小中、中高の学びの連続性を考えていることや小中の教職員が9年間で子どもたちを育てることをねらいとしている。

	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
長興寺小学校保護者との意見交換会	<p>【質問】</p> <p>○九戸中学校の耐用年数は。</p>	<p>○建てた年度やコンクリート等の素材によっても変わってくる。劣化しやすいものとしては水道などがあげられる。10年以上使用すると補助金返還はない。耐震補修等から20年たっているのので、修繕箇所も出てくる。</p>
	<p>○中学校に1度再編して、小中一貫の校舎を建ててからいれるという手もあるのでは。中学校の改修、新しく小学校を新築してしまうより1つにしたほうがお金もかからなくていいのではないか。</p>	<p>○小学校建築の後、その後、時間を置いての中学校建築は、子供のストレス等を考えた場合、事務局としても両方一緒に新築したほうがよいと考えている。財政局とも相談していきたい。</p>
	<p>○小中一貫ということだが、十分な用地はあるのか。</p>	<p>○今の校舎、校庭の配置換えは必要になると思うが、山根小学校のグラウンドを使用する等いろいろな方法が考えられる。</p>
	<p>○小中一貫の校舎になった場合、体育の時間等グラウンドや体育館の利用で不便にならないか。</p>	<p>○体育館も小学校、中学校用で2つ建築する考えである。不便にならないよう検討していく。本計画案は、小学校を中学校のプール側に建設し、交流施設で中学校とつなげたいと考える。現九戸中学校の職員室側を小中の共用棟や特別支援教室に活用したい案である。</p>
	<p>○お金は村の財政だけでできるのか。</p>	<p>○小学校再編は補助金が出るが、中学校は新築のみとなり補助金は難しいが、起債等を活用していければと考えている。</p>
	<p>○中学校校舎を改修するのなら、小学校は中学校の場所に建てるのは分かるが、全て新築する場合でも現在の中学校の場所になるのか。</p>	<p>○どこに建築することになっても校舎の金額は変わらないが、用地の問題がある。場所によって土地を売ってくれるのか、相続が済んでいるのか等様々な理由で完成年数が遅れる可能性がある。遅れるほど子供の数も減るので、用地の問題のない現九戸中学校の用地に建設したいと考えている。</p>

	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
長興寺小学校保護者との意見交換会	○学童クラブの設置予定はあるのか。	○小学校の低学年、高学年、中学校で帰りの時間が違うのでスクールバスの時間等も検討する必要がある。学校でバスの時間まで待つのか、各地域で待つのか、山根小学校の図書館等を使用する方法もあると考えている。現在は、伊保内小学校は学童クラブ、その他の学校は放課後子ども教室を開設している。今後は、福祉関係と相談し、放課後の豊かな社会体験、安心して保護者があずけられる施設を考えていく。
	○幼いころから一貫してやった方がスポーツ面、勉学面においても成果が出ると思う。勉学だけでなくスポーツ面でも一貫して指導を行ってほしい。また、いじめというデメリットもあるので気にしてほしい。極端なことを言うと中学校3年生が小学校1年生をいじめるようなことがあるかもしれないが。	○今後、皆さんの意見をまとめて小中一貫のメリットを生かし、デメリットをなくすようにしていきたい。 学校によっては、子どもたちの体力等を考慮し、6年生三学期に部活動体験をしている所もある。文化の部活動は可能と考える。
	○制服についてはどう考えているのか。小学校の卒業式を行うかどうかは。	○義務教育学校の場合は、制服が考えられるが、現段階では制服のことは考えていない。学校段階の区切りを明確にするためにも小卒業式、中の入学式は必要であるとする。義務教育学校でも工夫により小学校卒業式も可能ではあるが、正式な卒業証書ではない。今後、併設型にするのか義務教育学校にするか、九戸村なりの小中一貫教育を目指したい。
ひめほたるこども園保護者との意見交換会	【質問】 ○住民説明会の際にも参加したので、本日が2回目の説明会だったが、以前から出来るだけ早く再編という意見もあったので、準備段階として34年度よりも前に再編(学区)ということは考えてないのか。現状も気にかけてほしい。	○別会場の説明会の際も「急いでほしい」との意見をいただいた。再編する際に、すぐにでも他の学校の子供と一緒に学習させたい人と、地元にこだわりがあり残らせたいという人に分かれてしまい、少ない人数がさらに減る可能性もあるので、慎重に検討したい。

	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
	○親としては多くの子供と交流し、成長してほしいと思っている。転校して他の学校に移っても大丈夫なものか。	○学校同士の交流活動を現在も行っているが、これからさらに増やしていきたいと考えている。
	○ひめぼたのこども園は3、4地区の子供たちが集まっている。運動会の際、全地区の子供たちが集まるがその後、中学校まで会わない子たちもいる。中1ギャップではないが、34年度に同じことが起きるのではないか。月1程度に交流活動を増やしてほしい。	○事務局も同じ考えであり、ギャップが生まれないように交流活動を増やしていきたいと考えており、各学校長とも相談して進めていきたい。
	○山根小学校で入学を控えている身としては、急いで計画を進めてほしい。ランドセルも指定ということだが、統合することを考えると緩和してほしい。そもそも山根小学校はなぜ指定のザックなのか。	○筆箱でキャラクターがついているものが、使用可の学校と不許可の学校がある。今後、小学校5校、方向を合わせてやっていきたい。指定になった経緯は分からないので、調査する。
	○三戸学園の内部等を見ることは可能か。	○内部を見ることは難しい。とても立派な作りで特色があるので、近くに行った際に外観を見ていただきたい。ホームページにもあるのでぜひ見てほしい。
	○各地の説明会が終わった後に、結果説明会のようなものは考えているのか。冊子、回覧等でまわるだけなのか。	○9箇所をまわり、教育委員会で意見を検討して村と協議して皆さんに示したい。予算等が決まった際に1度説明会を開きたいと考えている。その際の実行説明会は5箇所を検討している。江刺家等では、地区の人と保護者で思いが違ったが、どちらの思いも正しいと考えている。整備委員会をこまめに行いたいと思う。
	○計画が決まった時点で、学校に話はいくのか。	○住民の皆さんに説明後、検討委員会等を設置し委員会でどういう校舎にするのか運動着をどうするかなどを話し合い、学校にもお知らせしたいと思う。

	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
ひめぼた こども園保 護者との意 見交換会	○統合した際は、PTA については各地区別なのか。一緒なのか。 【意見】 4人で授業を受けているが、人が少なく他の人の意見を多く聞くことができないため、学習によくないと思う。早く統合してほしい。	○土淵小学校は、最初、PTA は別で行っていると聞いている。現時点では決めてはいない。
九戸中学校 保護者との 意見交換会	【質問】 ○新学習指導要領が変わると聞いているが新しいものは 32 年度から変わるのか。	○今年度から先行実施で道徳と英語が入っている。32 年度から全面実施の予定である。
	○現在は、外国語指導の先生と会話をする外国語活動をしているが、新しい指導要領になったら、小学校は◎、○等の評価だが通信簿で評価されるようになるのか。	○新しい指導要領からは外国語は評価対象になる。
	○小中一貫となった際は、運動会は小中一緒に行うのか。	○盛岡市の土淵小学校は別だが、宮城県の色麻小中学校は一緒に行っていた。ある程度人数が減った際は、中学校のリーダーシップの育成、小学校のフロアーシップの育成等を考え、一緒に行ったほうがよいかも考えているが、その時の子どもたちの状況による。現段階では分からない。合唱などは一緒にやったほうが良いと考えている。
	○設置場所について他の地区の説明会では伊保内等、別の場所が良いという意見はなかったのか。	○別の場所が良いという意見はいただいたが、場所を変更し土地取得する場合には、土地の相続等の関係があり 34 年度には間に合わない状況になる。年数が経つほど人数も減り、幼稚園、保育園保護者からはできるだけ急いでほしいとの意見が多い。近隣学校と再編したほうが良いという意見もあった。保護者からは急いでほしいという意見が多いが、地域の方は地元にこだわりがあり違う意見を持っている方もおります。

	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
	○中一ギャップを感じる子は実際にいるのか。	○中一ギャップが原因か分からないが、不登校が多い状況である。春ではなく入学して、数ヶ月、夏休みが終わった後等に急に不登校になったりする。中学校生活への不適応が、不登校となって表れている。小中一貫教育は、課題のひとつである中一ギャップを解消するためだけでなく、5つの課題に即して9年間で子供たちを育てたいというものである。
	○二戸等の特別支援学校に通っている子が、九戸で特別支援学級が整備された際は、戻ってくることができるか。	○戻ってくることは難しい。特別支援学校は県立校で入学するためにいろいろな検査があり、高等学校等、子どもの将来を考え親にも判断してもらっている。 また、特別支援学級は生徒に対し、先生が1人に対応するが、特別支援学校は生徒に対し、複数の先生に対応するのでいろいろな場面に適応しやすい。
伊保内小学校保護者との意見交換会	【質問】 ○今現在は、計画はどこまで決定しているのか。小中一貫になることも決定しているのか。	○決定ではないが、この案でいきたいということで提案している。
	○中一ギャップがなくなっても高校、大学、社会人ギャップがあると思うので、少しはギャップがあったほうが良いと思う。自分の中学校時代はひどいものだったので、小中一緒にはしたくない気持ちがある。先生の負担を減らすためだけに行うように感じる。	○事務局としてもギャップ、段差等がある程度あって子供たちが乗り越えて成長していかないとだめだと思っている。そのためにも、小中で学級編成を何回か行い、人間関係の構築を図り、小中での心理的段差を少なくしたいと考える。ギャップというよりも、それぞれの段階では課題を自分で乗り越えるような経験をさせていく必要がある。ギャップにより不適応を起こすようにしてはならないと思う。小中一貫教育の導入は、中一ギャップの解消だけではなく村の5つの課題に対応するものである。

	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
伊保内小学校保護者との意見交換会	<p>○学力の向上ばかり聞こえるが、小中一貫になると地元の小学校はなくなると思うので、小中一貫になるにあたり何がなくなるのかをまとめてほしい。自分は学校には勉強をしに行くというより友達との思い出を作るために行っていた。運動着や運動会等はなくなるのではないか。</p>	<p>○運動着や筆箱等、統一することでなくなるものが出てくると思う。また、各地区の伝統事業についての意見も聞いているので、再編しても別々にやるか、1つに決めてやることになると思う。小中一貫で継続することが難しいものも出てくるし、新しく取り入れるものもあると考えている。子供たちにとって何が一番いいかを決めていきたい。それぞれの学校には特色ある教育がある。神楽、収穫祭、森林学習など、これらの活動をふるさと学習とし、地域に子どもたちを返し地域の教育力を生かした活動も考えていきたいが、新しいものを創っていくことも大切と考えている。</p>
	<p>○小中一貫ではなく小学校だけの統一だったとしてもバス通学になると思う。大きいバスでなく、裏道に特別な停留所を作ってその道を通れるような小さいバスを何台も走らせたほうがよいのでは。お金をけちるのではなく、責任、モラルをもった人にお金をかけて運転手を雇ってほしい。</p>	<p>○小学校、中学校のバスを別にしてほしい意見もある。三戸は一緒のバス通学だがまったく問題ない。路線、配車計画については今後検討していかないとはいけないと思う。バス会社に委託するか、バスを購入して村で行うかはこれから検討するが、子供たちの安全を第一に考えたいと思う。小学校の子どもたちの乗降場所は地域の意見を反映させ、警察等とも相談していきたい。</p>
	<p>○前回の説明会も参加したが今日参加して理解が深まった。自分の中学校時代があるのでバスが小中一緒なのは不安。社会性を身につけるためや先生の負担等を考えると小中一緒になるのはしょうがないと思う。働き方改革が言われている中で、逆に小中一緒になることで先生がグラウンド、教室等への移動等負担が増えると思うので、会議をテレビ電話で行う等時間を短縮してほしい。</p>	<p>○校務支援システムを取り入れ負担を軽減しているところもある。このようなことも考えていきたい。また、県、国の教職員の加配措置を活用できるよう要望していく。</p>

	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
伊保内小学校保護者との意見交換会	○普代小・普代中学校の施設一体型の校舎建築が遅くなった理由は何か。村の計画にも参考になるのではないか。	○初めに小学校を統合している。その後の計画は、明確ではないが震災が影響したものでないか。(はっきりしないところです)
	○中学校の先生が小学生に噛み砕いて教えるのが大変だと思う。先生は上手なので大丈夫かと思うが。これからの子は自分に興味があることを図書館で自分が調べ身につけるようになってほしい。今の職業が将来なくなることも聞くが。	○中学校の先生は、小学校のきめ細かな指導の在り方を学び、小学校は、中学校の専門性を生かした指導を学び、お互いの良さを生かした指導が行うことが出来ると思う。 これから AI が発達すると人間の仕事は減ると言われている。人間は自分で考え人に伝えるという AI にはできないことができるようにしていかなければならない。これからの環境変化についていけるようにこういった力を身につけてほしいと思う。
	○バスの中で感染症が心配である。トイレ等は小学校、中学校一緒にの所を使用するのか。自動で水が流れるようなトイレを設置できないか。	○トイレ等の生活スペースは小学校、中学校を別にするように考えている。
	○後の整備委員会には専門知識を持った人を多く入れてほしい。地域の代表の人がやると地域のことを考え子供のことが置き去りになってしまうかもしれない。保護者の方や専門の方がやるべきではないか。	○意見を反映させたいと思う。また、整備委員会では具体的な意見をお願いしたい。整備委員会が住民の意見を聞くようにワークショップも検討したい。
	○以前、子供の送迎をした際道が狭く危ないときがあったので、道についても整備してほしい。	○子どもたちの通学安全、防災安全、防犯安全には、配慮していく。
	○木造校舎の意見は出ていると思うが絶対に反対。以前、実証実験を行った際、木造校舎はすぐに燃え尽きたデータがある。中学校も後 20 年といったところだと思うので、建て直したほうがいいと思う。	○各地区の意見を持ち帰り財政とも相談する。校舎に関しては今後の整備委員会で決めることになる。

	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
江刺家小学校保護者との意見交換会	<p>【質問】</p> <p>○平成 34 年度を早めることはできないか。</p>	<p>○例えば、伊保内小に再編しても整備に 2 年はかかる。そのあとにすぐに一緒になるということは、子どもたちの負担にもなる。この計画の平成 34 年度と 1 年しか変わらない。また、学習指導要領に合わせて一緒になることを考えて子どもの負担にはならないようにしたい。</p>
	<p>○今の計画を早めることはできないか。</p>	<p>○建物の工事やスクールバス等のことを考えなければならない。早めることは難しい。子どもたちの学習環境が大事である。平成 34 年度までには、交流活動を多くしていきたい。</p>
	<p>○統合までに人数の多い学校に学区外から入れることが出来るのか。</p>	<p>○その学校に残る人、近隣の小学校に入る人と別れてしまうことが考えられる。そうならないように、34 年度までには、村内の小学校の交流活動を多くし、34 年度開校を目指したい。</p>
	<p>○九戸中学校の場所ということで進んでいるのが強いと思うが、適正配置案では小学校の通学距離は 4 キロメートルとなっており、冬の除雪が心配であるが。</p>	<p>○適正配置は基準である。伊保内小の子どもほとんどがバス通学となると思うが、保護者の意見を入れながら検討していく。体力面を考えて、途中でバスを下すなどの工夫もしていきたい。バスは、バス停から離れた所（雪屋）等を考え、業者に委託するか、村の直営のバスにするか検討する。</p> <p>バス通学は、子どもたちの安全が第一であり、登校時の乗車、下校時は夕方となり、防犯上の課題もある。バスの乗り場等は地域の方が一番詳しい訳で、地域の方々から意見を伺い、スクールガードの協力をいただきながら、通学安全、交通安全、防犯安全、防災安全を含め、警察等と協議しながら対応していく。</p>
	<p>○一旦伊保内小学校に入れてから、建設はその後にすればいいのではないか。</p>	<p>○伊保内小学校に一旦入れた後、その後建設ということも検討したが、時間がかかり、学校が小規模化してしまう。</p>

	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
江刺家小学校保護者との意見交換会	○九戸中学校の体育館以外にも村の体育館を部活動で使っている。このことを考えると伊保内地区に建築してもいいのではないか。	○今の九戸中学校規模の敷地を確保するためには数十人の地権者の理解、登記が終わる期間など、用地交渉には3年、土地造成に2年以上がかかると見込まれる。時間がかかり難しいと思われる。
	○小学校の英語教育のために小学校へALTを入れるのか。	○現在、英語指導助手が数回は入っている。また、村独自で外国語活動補助員を派遣している。今後については、村当局と相談、検討し、小学校にもALTを派遣するようにしたい。
	○学区外のことについて、改めて質問する。先ほど、色々と面倒があると言ったが学区外への転入学は可能か。	○学区外入学の規定があり、特別な場合は認めているが、それぞれの学校への入学は、基本住所地のみで判断する。
戸田小学校保護者との意見交換会	○スクールバスについてであるが、適正配置基準は、小学校は4キロメートルとしている。九戸中学校は2キロメートル以内でも乗っているが、小学校の場合は、もっと乗る範囲の距離が短くなるのか。	○ほとんどの子どもたちがスクールバスを利用することとなると思う。山根地区・荒谷地区の子どもは歩くことになるかもしれないが、保護者の意見を聞きながら進めていきたい。家から学校までスクールバスとなると健康面、体力面を考えた際に少し離れた所から歩かせることも考えられる。バス通学は、子どもたちの安全が第一である。登校時の乗車、下校時は夕方となり、防犯上の課題もある。バスの乗り場等は地域の方が一番詳しい。地域の方々から意見をいただきスクールガードの協力をいただきながら、通学安全、交通安全、防犯安全、防災安全を含め、警察等と相談しながら対応していく。
	○スクールバスの通学は、夏と冬では乗ることのできる距離の違う児童がいる、いないでコース変更があるし、毎年考えていくことが必要ではないか。	○その通りであり、柔軟に考えていきたい。

	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
戸田小学校 保護者との 意見交換会	<p>【質問】</p> <p>○九戸中の入り口・出口の道路は狭い。冬、雪で1台しか通れない。歩く子供たちの安全性を考えて欲しい。</p>	<p>○すれ違いが厳しいので何とかしてほしいとの意見は他の地区でもいただいている。今後、グラウンドのとり方や、バスロータリーのつくりかた、車の通行のルールづくりや、車の駐車のとおり方を考えていきたい。</p>
	<p>○小中一貫教育で九戸村独自の授業はあるのか。九曜塾のようなことを考えているのか。</p>	<p>○各学校で実施している総合学習の内容を生かしながら九戸村のことを学ぶ内容を検討していく。九戸村の自然、文化、歴史、伝統芸能などを学ぶ「ふるさと」学習を考えていきたい。また、「地域丸ごと学校構想づくり」を進めている。これは、土曜日に子どもたちを地域に返し、地域の教育力を生かし子どもたちを育てることである。戸田小であれば就志森登山、伊保内小であれば森林学習などである。「ふるさと学習」を教科にすると評価が伴うことから、教職員の負担も考え九戸村なりのふるさと学習を考えたい。また、新しい学校で新たなことを創り上げることも大切にしたい。</p>
	<p>○再編一校で、5年生の時に中一ギャップのようなことがくるのではないか心配である。今、村内で集まっているナインズ学習は楽しいだけになっている。コミュニケーションの力をつけてほしい。</p>	<p>○開校までには、村内の子どもたちの交流活動を多くしたい。今年度、先生方の研修にソーシャルスキルトレーニングの指導方法を取り入れる。研修成果を子どもたちの指導に生かすように考えている。</p>
	<p>○校舎と小中交流する場所をつくりたいとは、どういうことか。</p>	<p>○小学校、中学校それぞれ独立した校舎であり体育館もそれぞれに設置するが、交流ルームや職員室を小中一緒にすることを考えている。</p>
	<p>○検討委員会でも話題になったが、跡地利用は進んでいるか。</p>	<p>○学校配置場所が決定していないことから、跡地利用の話は進んではいない。この計画案が認められれば跡地利用の話がすすむことになる。</p>

	頂いた質問・意見	教育委員会の考え方
戸田小学校 保護者との 意見交換会	○校舎は、複式学級を想定しているか。	○10～12 学級、特別支援学級も含めた学校を考えている。平成 36 年度は 22 名の入学であり、1 学年 1 クラス、6 学級規模の学校は予想される。
	○校舎の新築後、空き教室の改修は可能か。中学校も新築してほしいが。	○改修は可能である。今後は、コミュニティスクール制度が導入され、地域と一体となった学校づくりを進めることとなる。空き教室は地域ルーム等として活用していきたい。 中学校の新築は他の地区からも要望がある。財政面を含め村当局と相談していきたい。
	○幼稚園・保育園は一つになるのか。	○検討課題である。保護者の利便性を考える必要がある。また、地域と P T A の考え方の違いもある。(地域は残してほしい)